

# マニラ日本人学校 昨年度の実践と今年度の取り組み

AG 5 研究テーマ

「バイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発と

そのための教員研修のプログラム

開発」

# マニラ日本人学校の 日本語学級入級者について

日本語学級入級者数

35人（平成31年度）

38人（令和2年度）

・日本語力が十分でない児童 ・日常会話程度はできる児童

**学習言語力が十分でない。**

## 本校の日本語学級

- 週一時間の日本語学級（毎週金曜日 6限目）  
→小学部4年生以上はクラブと併設して行っていました。
- 在籍学級での日本語指導及びバイカルチュラルの視点を取り入れた取り組み（昨年度の9月より）

## 昨年度の取り組みと実践(1～3年生)



月ごとの活動案を作成し、活動案に沿って指導を行っている。

- 基本的には先行学習で行いました。
- 学級の実態や学習の進度によって、活動案をもとに活動を変更する場合もありました。
- 教科書の改訂に伴い、年間計画を作成しました。
- マニラ日本人学校の在籍児童の特色を見出し、より児童にあった指導内容を考えました。



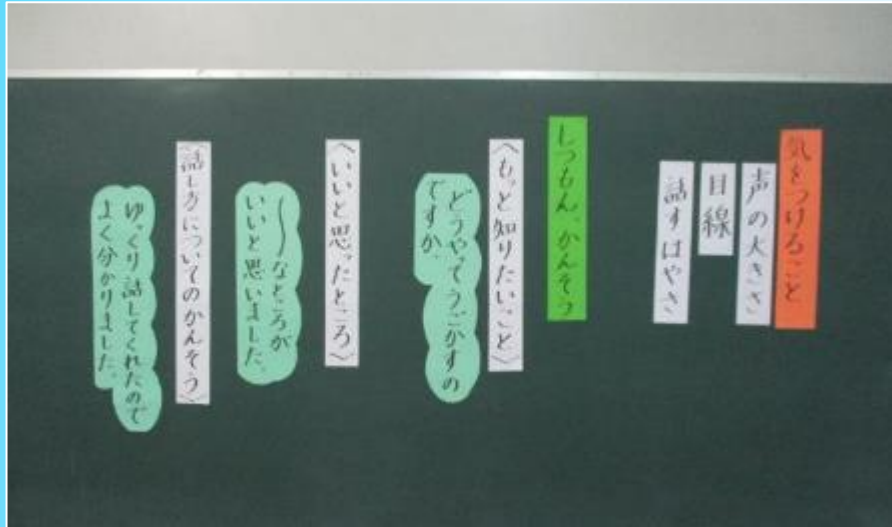
# 1年生の活動例

「じどう車くらべ」の先行学習



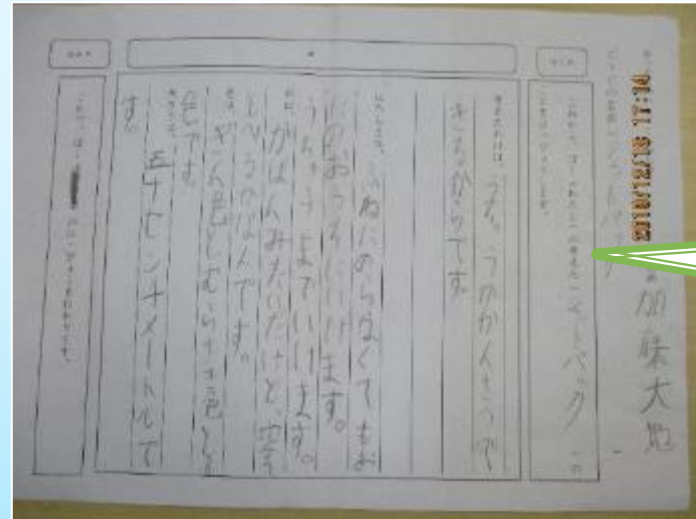
車のおもちゃを動かしながら、車の「しごと」や「しくみ」について学びました。

## 2年生の活動例



「あったらいいな」と思う道具を  
絵に書き、その絵をもとにその道具の  
紹介文を書きました。

絵を描いたことで、文章を書く活動に  
スムーズに入ることができました。



「あったらいいな、こ  
んなもの」の先行学習

## 3年生の活動例



「ことわざを調べよう」  
の先行学習を行いました。  
授業の始めに、かるた遊び  
を行うことで、ことわざへ  
の興味・関心を高めました。



## 昨年度の取り組みと実践(4～6年生)



児童の実態に合わせて活動案を考え、指導している。

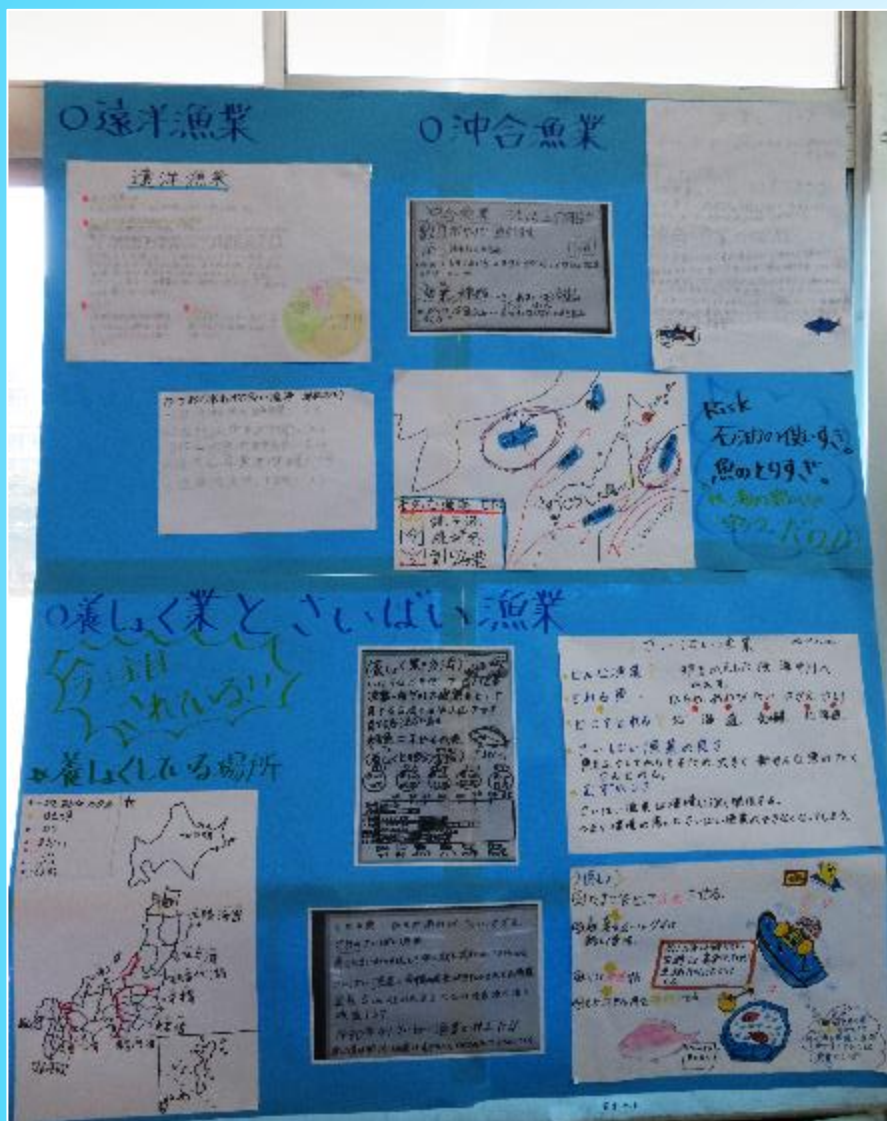
- 児童の実態に合わせて担任が考えて指導を進めました。
- 児童の実態が学級によって大幅に異なるので、引き続き児童の実態に合わせた指導を行いました。
- どの学級も先行学習を意識し、教科横断型の指導が行えるように意識をしました。



# 在籍学級での取り組みについて

社会を中心に，日本語指導及びバイカルチャラルの視点を取り入れた指導を行った。

- 現地理解教育を取り入れる。
- 日本とフィリピンの現状を比較する。
- 調べ学習をしてまとめたことを発表する等の豊富な言語活動を取り入れる。



図や絵を活用したり、モデル文を使用したりするなど、児童が授業に参加しやすい環境作りをする。フィリピンの文化や現状などを学習に取り入れることで、広い視野をもって学習を進めることができる。

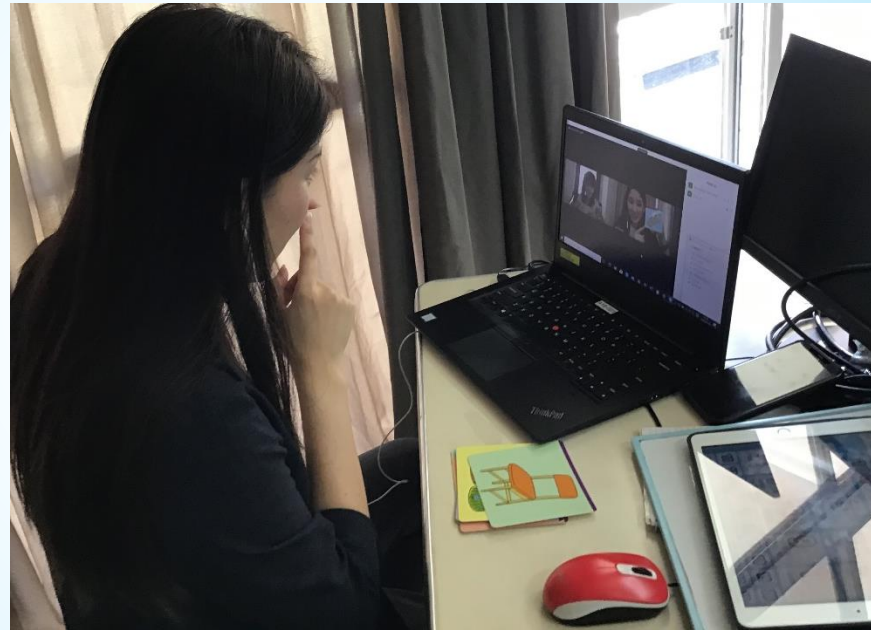
# 今年度の取り組みについて

- 5月～ オンライン授業をスタート
- 6月～ 5年生で補習授業の形での取り出しの指導を行った。
- 7月～ オンラインでの日本語学級を開設



# 1年生の活動例(今年7月)

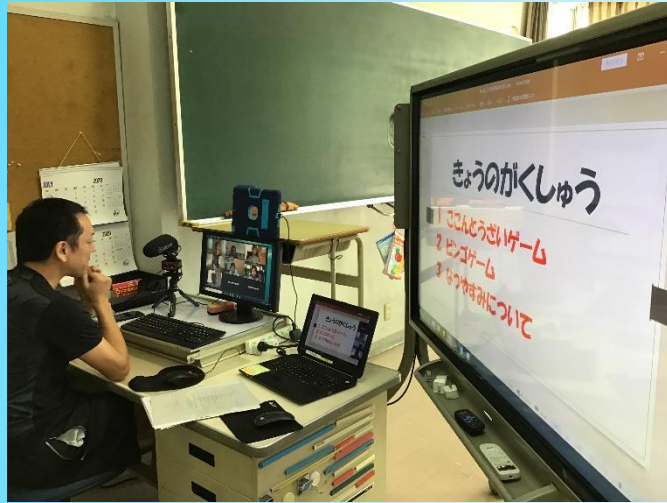
絵カードを用いてウォーミングアップをしています。



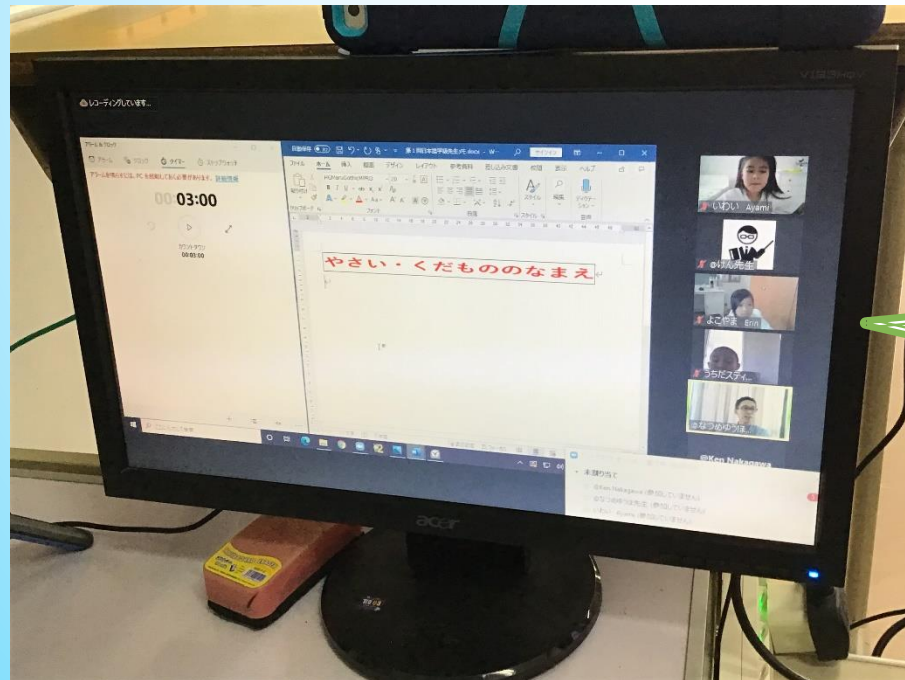
1対2でそれぞれの先生がついて、能力に合った絵カードを使用しました。



## 2年生の活動例(今年7月)



2つのチームに分かれて古今東西ゲーム、ビンゴゲームを行いました。ビンゴゲームでは、



「やさしい・くだもの」  
のなかまを時間内にた  
くさんあげました。  
(古今東西ゲーム)

# 3年生の活動例



簡単な算数の文章問題を  
読んで、何算になるのか  
考えました。理由もつけ  
て話すことができました。

なにざんかな? ~キーワードを見つけよう!~

60 円のチョコレートと 21 円の あめを  
か  
買います。だいはいくらになりますか。



60円



21円

(      ざん) のキーワード

## 今後の取り組みについて

- 8月24日～ 2学期スタート
- 9月～ 日本語学級をスタート(対面式の予定)  
→カリキュラムの作成と見直し
- 11月7日 ZOOMを利用した合同研究会(予定)



ご清聴ありがとうございました。

